

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

次世代半導体製造拠点の立地や洋上風力発電の導入など、産業構造が大きく変化している中、地域創生を担う産業人材を育成している専門高校と産業界をつなぎ、産学連携を強化するとともに、専門高校の価値や魅力を広く発信し、魅力ある北海道を創る人材育成を推進する。



専門高校と産業界の連携における課題

- ①連携した取組が少ない
- ②連携の進め方や配慮点が不明
- ③ニーズ等が異なり、連携が進みづらい
- ④教員が多忙なため企業等と調整不足

横と縦の糸で
専門高校の
つながりを支援

横 のつながり

専門高校が**学科の垣根を越えて連携**し、効果的な職業人材育成システムを、他の専門高校に**自走可能な形で横展開**

縦 のつながり

専門高校と**企業や中学校との縦の連携**を促進するとともに、地域創生を担う産業人材を育成している**専門高校の価値や魅力**を広く発信

ONE-TEAMコミッティの発足

有識者で構成し、本プロジェクトの推進に向けて、専門高校の視察や産学連携に関する協議を行い、専門的見地から指導・助言



※委員会

本プロジェクトのゴールイメージ



専門高校と産業界が**サステナブル※**につながる

※持続可能な、ずっと続いていく

KPI

- ① 産業界との連携・協働体制を組織的に構築できている専門高校の割合（道立の専門高校56校）
【R5: 7%（実績値）▶ R6:14% ▶ R7:50%】
- ② 産業界の有識者を招いた協議等の機会を設けて、地域の人的・物的資源を活用しながら教育活動を行っている専門高校の割合（道立の専門高校のうち、農工商水54校）
【R5:54%（実績値）▶ R6:61% ▶ R7:91%】



産学連携コーディネーターの役割

北の専門高校プラットフォームを創設

◆人のつながりを生む機会を創出

産学連携カンファレンスなど、産学連携に資する機会を創出し、専門高校と産業界等を、学科の特性に応じて**人的につなげる**



◆産業実務家教員リストの作成

謝金等が不要で出前授業等が可能な**職業人をデータベース化**したリストを作成し、持続可能な産学連携を促進

【データベース】

・農業分野

○ ○ ○ ○

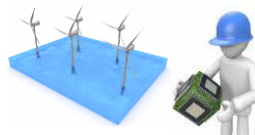
△ △ △ △

・工業分野

▲ ▲ ▲ ▲

◆新たな産業や専門高校への理解促進

DXを活用して働く専門高校の卒業生や、産学連携、学科の垣根を越えた連携などの事例を紹介する**おしごとガイドブック**を制作し、中高生や経済団体に配付

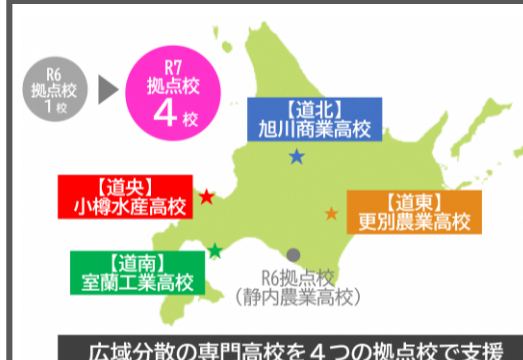


管理機関の役割

- ◆ONE-TEAMコミッティを設置し、広域分散型の本道における産学連携の推進に向けて、拠点校と協力しながらプロジェクトを展開
- ◆産学連携コーディネーターを配置し、専門高校の産学連携を支援
- ◆専門高校を拠点とした**地域創生**や**地域人材の育成**に資する取組を推進
- ◆**専門高校の価値や魅力**を産業界や中学校に普及・啓発



横展開のイメージと拠点校の役割



【横展開のイメージ】

- ◆R6は静内農業高校における産学連携のノウハウを普及、
- ◆R7は道内4圏域に拠点校を配置することで、各圏域ごとに参集によるイベントの開催が可能になり、**地域に根差した活動が可能**

【拠点校の役割】

- ◆管理機関と連携し、他の専門高校や産業界の関係者等に対して、産業界と連携した効果的な取組やその成果等を広く発信

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

専門高校の**横**のつながり（学科の垣根を越えた連携）✂️**縦**のつながり（産業界や中学校との連携）を結んだ12本の糸

1 キックオフミーティング

【主な内容】

- ◆専門高校の代表教員が参集し、本プロジェクトの概要等の説明後、R6拠点校である静内農業高校による実践発表
- ◆学科の垣根を越えた教員による協議

【成果】

- 静内農業高校のこれまでの取組と、本プロジェクトで目指す姿を専門高校の教員が共有



産学連携コーディネーターのファシリテートによる協議

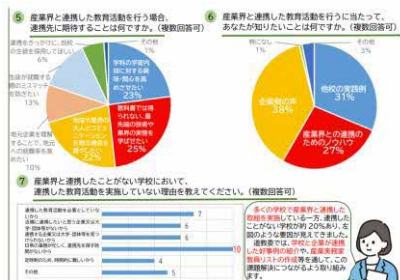
3 学校ヒアリング調査

【主な内容】

- ◆本プロジェクトを専門高校にとって有益な取組とするため、専門高校を対象に、産学連携についての現状や考え方を把握するヒアリング調査を実施（回答数159）

【成果】

- 産学連携の現状や課題を把握・共有
- 調査結果を踏まえた各種イベント等における講師の選定や協議題の設定等



学校ヒアリング調査の結果

2 ONE-TEAMコミッティ（事業運営委員会）

【主な内容】

- ◆有識者6名で構成し、本プロジェクトの円滑な推進に向けて、専門高校の視察や産学連携に関する協議を行い、専門的見地から指導・助言（年3回開催）

【成果】

- 委員による助言を踏まえて、各種イベントや次年度の取組を計画



第1回は静内農業高校で開催

4 ONE-TEAMニュース

【主な内容】

- ◆本プロジェクトの取組や専門高校における産学連携の好事例、各種イベント等の情報を掲載し、専門高校や産業界に広く発信

【成果】

- 専門高校や産業界の情報を広く普及・啓発
- 産業界関係者からは「専門高校の取組が知れるので発行が楽しみ」との声が多数



ONE-TEAMニュース（第3号）

5 新たな産業を学ぶ機会の創出

【主な内容】

- ◆道経済部と連携し、出前授業（半導体、洋上風力発電）や洋上風力発電施設の見学バスツアーを実施
- ◆企業や自治体と連携し、校内で半導体展を開催している工業高校の先進的な事例を広く発信

【成果】

- 新たな産業や働き方に関する生徒や教員の理解促進



洋上風力発電施設の見学

6 各種教員向けセミナー

【主な内容】

- ◆道の建設部や経済部、建設業協会等の関係機関と連携し、教員向けセミナーを開催
 - ▶建設DX（33名）▶半導体（94名）
 - ▶観光産業（36名）▶洋上風力発電（35名）

【成果】

- 新たな産業への教員等の理解促進
- 全国から多くの参加があり、道外の先進地域とのネットワークが強化



半導体理解促進セミナー（チラシ）

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

7 中学校に向けた専門高校の魅力発信

【主な内容】

- ◆中学生やその保護者、中学校教員の専門高校に関する理解を深めるため、「職業学科理解推進ガイド」を発行
- ◆中学校教員を対象に、オンラインで「職業学科理解促進セミナー」を初開催

【成果】

- 中学生や教員等の専門高校に関する理解を促進
- 専門高校の価値や魅力の発信



職業学科理解推進ガイド

9 高校生チャレンジ in どさんこプラザ

【主な内容】

- ◆農業・商業・水産科の生徒が、学科の垣根を越えて連携し、企業と協働で開発した商品をJR札幌駅構内にある北海道のアンテナショップ「どさんこプラザ札幌店」で販売（参加校数：7校、出品商品数：9品）

【成果】

- 6次産業化を体験的に学ぶ機会を創出
- 専門高校の価値や魅力を発信



販売を担当した生徒達

11 おしごとガイドブック～2024年度版～

【主な内容】

- ◆中高生が新たな産業や働き方に関する理解を深めて職業を選択することや、中学生が専門高校の魅力や学習内容等を踏まえて進路を選択することをねらいとして、ガイドブックを制作し、高校1、2年生に配付

【成果】

- 中高生やその保護者の新たな産業や専門高校への理解を促進



おしごとガイドブック～2024年度版～

8 産学連携シンポジウム

【主な内容】

- ◆教員や産業界関係者合わせて137名が参加し、静内農業高校の産学連携の事例を共有
- ◆生徒3名と企業・経済団体等の関係者5名によるサステナブルな産学連携をテーマとしたパネルディスカッション

【成果】

- 教員と産業界関係者が、産学連携のノウハウや持続可能な産学連携の在り方を共有



パネルディスカッションの様子

10 産学連携カンファレンス

【主な内容】

- ◆専門高校の教員85名と生徒20名、産業界関係者68名が参集し、厚岸翔洋高校（マスター・ハイスクール）による実践発表等
- ◆専門教員や産業界関係者に生徒が加わり、産学連携をテーマとしたグループ協議

【成果】

- 生徒の実体験を参考にしながら、参加者が持続可能な産学連携の方法等を共有



生徒、教員、産業界関係者による協議

12 産業実務家教員リスト

【主な内容】

- ◆出前授業や現場見学など、謝金や旅費等が不要で、専門高校との連携が可能な企業等の情報を掲載したリストを作成し、専門高校に配付（掲載数：36事業所等）

【成果】

- 学校にとって負担の少ない産業界とのサステナブルな連携が実現



産業実務家教員（募集チラシ）

事業1年目における【成果○】と【課題△】

- 【成果○】 静内農業高校の産学連携のノウハウを普及
【課題△】 専門高校が分散している広域な北海道で、各地域の産学連携を推進する体制の整備

対応

事業2年目における体制の強化

- ◆北海道を4圏域に分割し、各圏域に拠点校を配置
- ◆各圏域ごとに参集によるイベントの開催が可能になり、地域に根差した産学連携の推進が可能

将来

本プロジェクトで目指す姿

地域を支える
最先端の職業人材の
持続的な育成

地域創生の実現

